

研究だより

2019年 7月 30日

NO. 11

2の1担任

自分たちで『いろは歌』を作ってみました

1学期の中で、グループでの学習がうまくできたかなと思えたのは、ほんの数えるほどしかありませんでした。子どもたちが頭を寄せ合って学習できたのは、国語の『いろは』をしよう」という章末の言語事項のところでした。指導書では2時間の配当時数で、これまでは2つの「いろは歌」を読む練習をして、暗唱しておしまいにしてきたところです。

グループで協力してできそうだなと思ったので、46文字を1回ずつしか使わないで「いろは歌」を作ることになりました。1時間でできなかったのを、2時間目に続きをしました。



- 1班 (. .)
ふゆは さむいが たのしみ ひとつ
うちで あそぶことなく ひるねする
- 2班 (. . 欠)
とりみつけ はるのなきごえを ひろうした
ゆめさませ おそぶねに
- 3班 (. .)
かきのみ たくさん なる

- 4班 (. .)
なつ おわるひに あいすかって
ころんで ふくが ぬれたね
- 5班 (. . 欠)
こうえんの すなばで ともだちが
あそぶ まめを みつめる
- 6班 (. .)
なつは あちいよ かきごおり く
わらのやま せんろ ゆめみて
たびをする



ふうまくんのうで



他の班と見合った時、「この字2回使ってるよ。」と言われたとたんに、全部消してしまう子が複数いました。ちょっと直せば簡単なのに、打たれ弱いところがあります。

いつもの4人が、ホワイトボードを使ったグループ活動で共通している点は、「自分がやりたい!」「それがかなわないとやらない!」「だからじゃまする!」(人が書いたものを消す)です。1日目は、くんがペンをにぎって取り組んでいました。2日目までの間に、一部席替え(トラブル解消のため、時々替える必要があります)をしたので、くんが同じ班になりました。くんが話し合いの中心になったため、「自分がやりたい」が通らず、ちょっと活動に入れなくなりました。班のメンバーは大事ななあと思いました。また、3班はおとなしい3人組です。なかなか取りかかれなかったのですが、くんを中心になんとか話し合いを始めることができました。

〇〇〇先生のアイデアで、「いろは」のことわざカルタに学習内容を広げってみました。「サルも木から落ちるってどういうこと?」と聞くと、手を挙げて「サルが木から落ちた」と自信をもって答える子どもたち。ことわざの意味を簡単に説明しながら、言葉はこうやって意図的に増やしていかなければならないのだなあ勉強になりました。

2学期は、グループでの学習がうまくできることが増えるようがんばります。